



広島大学  
財務報告書  
Financial Report  
2020

## 学長メッセージ／Message from President

広島大学は、文部科学省の研究大学強化促進事業（RU）、スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）トップ型の双方に選ばれた国内有数の総合研究大学です。

2017年には「自由で平和な一つの大学」を掲げる建学の精神に則り、新たな長期ビジョン「SPLENDOR（Sustainable Peace Leader Enhancement by Nurturing Development of Research）PLAN 2017」を策定しました。新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点として、平和の構築にチャレンジし、人類の幸福に資する次世代のグローバル人材を輩出することを目指しています。

2020年10月、アメリカのアリゾナ州立大学（ASU）サンダーバードグローバル経営大学院の広島大学キャンパス校を東広島キャンパス内に設置します。国立大学が外国大学のキャンパスを誘致するのは初めてであり、広島大学の国際化のさらなる進展、経営改革への貢献とともに、地域社会の活性化への波及効果が期待できるものです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の難局に直面し、今もなお、学内の感染拡大防止策に努めています。ウイズ・コロナ/ポスト・コロナ社会において大学改革を着実に推進していくためには、安定した財政基盤に裏打ちされた財源の確保が、より一層急がれるところです。

もとより国の予算のみに頼るのではなく、競争的資金や寄附金等の外部資金の獲得に最大限努力する一方、一般管理費の抑制など経営体質のスリム化・強靱化に向けた取り組みも続けています。

このたび、本学の財務状況に加え、理念・ビジョン、教育研究等の諸活動などをまとめた「広島大学財務報告書2020（Financial Report 2020）」を発行しました。広島大学を支えてくださる皆様に、本学の取り組みをご理解いただくとともに、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



広島大学長 越智 光夫

## 広島大学財務報告書2020 目次／Contents

05	基本理念、将来ビジョン
05	広島大学基本理念
06	SPLENDOR PLAN 2017
07	SPLENDOR PLAN 2017実現に向けたプロセス
11	活動実績
11	教育
13	研究
15	国際
17	社会連携
19	病院
21	数字で見る広島大学
25	ガバナンス
25	広島大学のガバナンス体制
26	研究費等の不正使用防止等に関する取組
29	財務情報
29	貸借対照表
31	損益計算書
33	財務指標
35	国立大学法人の会計制度
37	広島大学基金
39	理事（財務・総務担当）メッセージ

本資料に記載している数値は単位未満四捨五入しています。  
このため、合計と内訳が一致しない場合があります。



基本理念  
将来ビジョン

---

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たす。

平和を  
希求する  
精神

絶えざる  
自己変革

新たなる  
知の創造

地域社会・  
国際社会  
との共存

豊かな  
人間性を  
培う教育

100年後にも世界で光り輝く大学へ

University of World-wide Repute and Splendor for Years into the Future

2016年5月27日、オバマ米国大統領（当時）の被爆地広島への訪問がついに実現し、新たな世界平和の一步が踏み出された。一方、世界中で従来の規範意識が変化し、ポピュリズムが世界を席卷し、価値観が一層多様化している。今こそ、知の拠点である大学には、科学のパラダイム転換へのアクションが求められている。広島大学は、このような状況を重く受け止め、平和実現の責務を新たな大学の長期ビジョンに反映させることにした。

長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」は、2009年6月に策定した「広島大学の長期ビジョンー10年から15年後の広島大学像ー」をベースに、2016年に策定した「国立大学法人広島大学第3期中期目標・中期計画」を着実に履行し、研究大学（RU）、スーパーグローバル大学（SGU）としての目標をより高いレベルで達成することを約束するものである。そして、広島大学を取り巻く諸情勢の変化を謙虚にかつ客観的に俯瞰し、100年後にも世界で光り輝く大学であるための今後10年間のプランを表明する。

広島大学は、建学の精神「自由で平和な一つの大学」に則り、教育、研究、医療及び社会貢献の活動を通じて、多様性を育み自由で平和な国際社会の構築に貢献している。これまで以上に、人間、社会、文化、食料、環境、自然の持続性に関連する全ての既存の学問領域を包含し、平和の構築に限りなくチャレンジし、働きかける新しい平和科学の理念「持続可能な発展を導く科学」の創生を目指した活動を展開し、100年後にも世界で光り輝く大学としての責務を果たす。

### 広島大学のミッション（使命と役割）

新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し、多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現

### 広島大学の全体コンセプト

「持続可能な発展を導く科学」を实践する世界的な教育研究拠点の構築

### 広島大学の目標

「持続可能な発展を導く科学」を实践する知の拠点としての総合研究大学

### 広島大学の3つのビジョン

研究	「持続可能な発展を導く科学」を支える基礎研究と先端研究の高度化
教育	変動する世界を俯瞰し、国際的にチャレンジする人財の輩出
社会貢献	地域と国際社会が協同して発展する社会連携の強化

# SPLENDOR PLAN 2017実現に向けたプロセス



本学は、「SPLENDOR PLAN 2017」の実現に向け、具体的な実行計画を作成し、着実に実施しています。  
 このページは、国際統合報告評議会（IIRC）が公表している国際統合報告フレームワークにおける価値創造プロセスを参考に、本学がどのようにして『持続可能な発展を導く科学』を実践する知の拠点としての総合研究大学となるか、そのプロセスを、本学の活動を支える多様な形態の資本、具体的な工程を定めたフレーム「広島大学改革構想」、外部環境（社会的課題）、ステークホルダーとの関係性、教育研究等の活動とそのアウトプットに分けて見える化したものです。

## 100年後にも世界で光り輝く広島大学



財務資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>総資産：1,990億円</li> <li>経常収益：769億円</li> <li>広島大学基金：25億円</li> </ul>
製造資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地総面積：3,138,534㎡</li> <li>建物延面積：665,550㎡</li> <li>大学病院病床数：746床</li> </ul>
知的資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部：12 研究科：11</li> <li>附属学校園：11</li> <li>附置研究所および研究施設等：29</li> <li>図書館蔵書数：3,470,322冊</li> <li>特許保有件数：886件</li> </ul>
人的資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員数：1,794人</li> <li>学生・生徒・児童数：19,376人</li> <li>職員数：1,682人</li> </ul>
社会・関係資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地：世界最初の被爆地である国際平和文化都市ヒロシマ</li> <li>創立以来：145年（白鳥学校創立）</li> <li>学部卒業生数累計：139,410人</li> <li>学位授与数（博士）累計：12,612人</li> <li>大学間国際交流協定：314機関347協定</li> <li>海外拠点：15か国・地域19拠点</li> </ul>
自然資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー投入量：891,656GJ</li> <li>コピー用紙投入量：206,229kg</li> <li>水投入量：563,214㎥</li> </ul> <p style="text-align: right;">（2019年度の投入量）</p>

資本（インプット）は、2019年度期首の情報を記載。  
 （2018年度実績、2019年5月1日現在の情報を含む。）

### グローバル人材の育成

- 教育の質保証と向上
- 多様な人材の受入れ

---

### 研究力の強化

- 世界的研究拠点の継続的創出
- 研究推進体制・研究環境の整備

---

### 国際交流の推進と地域社会への貢献

- 海外拠点を活用した留学生の受け入れと派遣の充実
- 地域完結型医療の構築（関連病院ネットワークの完成）

---

### 教育力、研究力強化のためのガバナンスの強化

### 広島大学のミッション（使命と役割）

新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し、多様性をはぐむ自由で平和な国際社会の実現

平和を希求する精神を持ち、持続可能な社会の実現に向けてチャレンジする学生及び研究者

---

外部環境（社会的課題）

ポストコロナ・ウィズコロナ	SDGs
グローバル化	少子高齢化
地方創生	Society5.0
	環境

主なステークホルダー

学生、保護者、受験生	国	自治体
国民	地域住民	同窓生
患者・医療機関	国際社会	寄附者
	産業界	

教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>2研究科の新設</li> <li>入学者数：3,766人</li> <li>学部卒業生数：2,382人</li> <li>学位(修士・博士)授与者数：1,602人</li> </ul>
研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCI論文数：2,329報</li> <li>国際共著論文数：895報</li> <li>科研費獲得件数：1,745件</li> <li>科研費獲得額：29.9億円</li> </ul>
国際	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人留学生数：3,216人</li> <li>日本人学生海外派遣数：584人</li> <li>外国人教員等数：763人</li> <li>外国語による授業科目：5,071科目</li> </ul>
社会連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究受入件数：469件</li> <li>共同研究受入額：13.0億円</li> <li>共同研究講座数：23件</li> <li>特許保有件数：948件</li> </ul>
病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者延数：573,736人</li> <li>入院患者延数：236,338人</li> <li>手術件数：8,283件</li> <li>病床稼働率：86.6%</li> </ul>
基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生奨学金支給：48.9百万円</li> <li>学生海外派遣支援：17.6百万円</li> <li>国際学会発表支援：5.6百万円</li> <li>研究支援金：5百万円</li> </ul>

「持続可能な発展を導く科学」を実践する知の拠点としての総合研究大学

「持続可能な発展を導く科学」を支える基礎研究と先端研究の高度化

変動する世界を俯瞰し、国際的にチャレンジする人材の輩出

地域と国際社会が協同して発展する社会連携の強化



教育



■ 大学院人間社会科学研究所と大学院先進理工系科学研究科の新設

本学は、2020年4月、大学院人間社会科学研究所（東広島キャンパス・東千田キャンパス）と大学院先進理工系科学研究科（東広島キャンパス）を新設しました。

人間社会科学研究所

人間と社会のための諸科学の追求と、教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという2つのミッションを有し、人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材を養成します。



(人間社会科学研究所除幕式)

先進理工系科学研究科

幅広く深い教養とともに、理学、工学または情報科学およびこれらに関連する研究領域において、高度な専門性を核としながら、多分野との融合的理解力を身に付け、次世代のリーダーとして世界水準の学術研究の推進やイノベーションの創出を担う人材を養成します。



(先進理工系科学研究科除幕式)

■ 教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」

本学では、大学で専門的な分野の学識を深めるのと同時に、幅広い教養、すなわちペラ・アートを生涯にわたって培っていくことが何より大切と考えており、教養教育の一環として、スポーツ、芸術、科学、ビジネスなど各界で活躍されているリーダーをお招きし、ご自身の学生時代や、困難を乗り越えた経験などを語っていただく特別講演を実施しています。同講演は、全学部必修科目「大学教育入門」の中で学部新入生を対象として実施しており、学生らが入学直後に大学生活の目標や将来の夢を考える機会となっています。



五百旗頭 真氏 (兵庫県立大学理事長) 上田 宗岡氏 (茶道上田宗箇流家元) 中丸 三千繪氏 (オペラ歌手) 野村 謙二郎氏 (野球評論家/広島東洋カープ元監督) 弘兼 憲史氏 (漫画家) 松井 一實氏 (広島市長) モーリー・ロバートソン氏 (国際ジャーナリスト) 茂木 健一郎氏 (脳科学者) <2020年度講師 (左から五十音順) ※オンデマンド授業により実施>

■ 新型コロナウイルス感染症対応

「知を鍛える一広大名講義100選」を公開

広島大学の「知」を通じて、「学び」や様々なことに興味をもっていただくきっかけとなることを目的として、授業や研究内容等について本学教員が話をする様子を撮影し、本学公式ウェブサイトで公開しました。

オンライン授業におけるモバイルWi-Fiルーターの貸出

オンライン授業の実施にあたり、自宅等にネットワーク環境が整っていない学生に対して、モバイルWi-Fiルーターを無料で貸与しました。



[https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/enhance\\_knowledge](https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/enhance_knowledge)



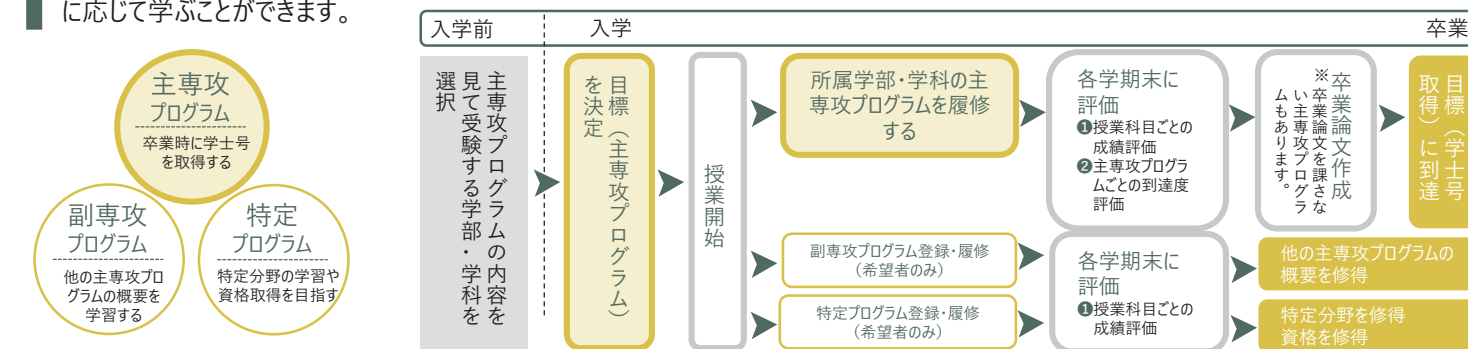
■ 本学独自の教育システム「到達目標型教育プログラム」HiPROSPECTS® ※HiPROSPECTSは広島大学の登録商標です。

興味・関心に合わせて学べる3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、他の主専攻プログラムの概要を学ぶ「副専攻プログラム」、特定分野の学習や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

それぞれのプログラムで到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的に到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。



■ 大学院共通科目

広い視野と社会への関心や問題意識を養成し、それぞれの専門分野が「持続可能な発展を導く科学」としてどのような貢献が可能であるかの考察を深めるために、さらに最近の社会システムの進展を正しく把握し、現代社会で活躍するための基本的な知識を身につけるために「大学院共通科目」を提供しています。なお、すべての研究科において選択必修となっており、「持続可能な発展科目」「キャリア開発・データリテラシー科目」から各1単位以上修得する必要があります。

■ 経済サポート

高等教育修学支援制度

2020年4月から、高等教育修学支援制度が始まり、本学もこの制度の対象校となっています。

この制度は、世帯の所得に基づく区分や通学区分、学業成績に応じて、入学料・授業料の減免および給付型奨学金を受けることができます。

独自の給付型奨学制度

人物および学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学が困難な人や経済的に困窮している在学生を支援するため、広島大学基金からの援助により独自の奨学制度を設けています。

広島大学学生支援の森 経済支援HP  
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/financial.html>



数字で見る教育

■ 企業の人事担当者から見た大学イメージ調査

日本経済新聞社と就職支援・転職支援の日経HRが実施した大学イメージ調査で、本学は「対人力」が全国1位となりました。また「行動力」でも全国3位の高い評価を受けました。「行動力」「対人力」に「知力・学力」「独創性」を加えた総合ランキングでは、全国5位（中四国ではトップ）にランキングされました。

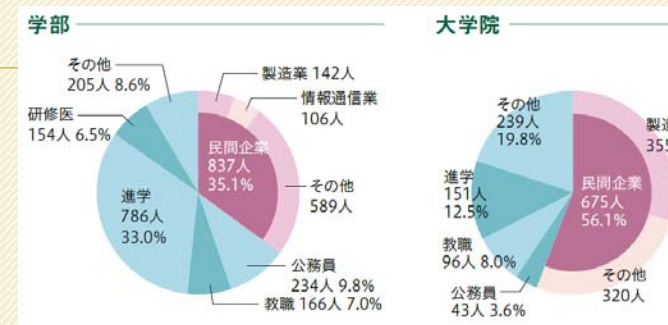


■ 就職状況 (2019年度 学部就職者1,237人/大学院※就職者814人)

※修士課程、博士課程前期修了者

【主な就職先】

- 学部  
 広島大学病院、広島銀行、中国電力、ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、西日本電信電話、マツダ、東京海上日動火災保険、積水ハウス、長谷川会計
- 大学院  
 マツダ、中国電力、マイクロメモリジャパン、パナソニック、西日本電信電話、三菱電機、日本電気、東ソー、中国電力ネットワーク、川崎重工業、本田技研工業、クボタ、クラレ





■ 世界的研究拠点構築に向けた取組 – 国際的学際・融合拠点への進化 –

本学は、2013年度に文部科学省の「研究大学強化促進事業」において、研究大学として選定されました。研究力強化に向けた取組を実施することで、10年以内に世界トップ100位以内の大学を目指しています。



2018年6月「広島大学FE・SDGsネットワーク拠点」設置



多様なアクターとの連携を土台とした超学際研究「Peace and Sustainability」の推進、本学独自の評価指標を活用したSDGs貢献度の可視化事業など、特色ある様々な取組を推進しています。

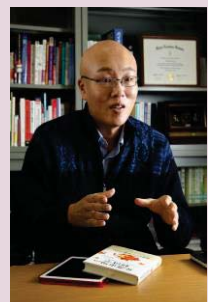
2020年4月「国際アフェクトム（感情）研究センター」設置



この分野で世界をリードするため、ストレス医科学や脳科学の経験や知見を多く有する本学の「脳・こころ・感性科学研究センター」や、国内外の優れた研究者との本格的な連携協業によるグローバル研究の中核拠点を目指しています。

2019年9月「最先端国際プロジェクト」設置  
-医療経済研究拠点-

世界的な研究拠点への展開を目指し、教育プログラムと連携し大学院生が参画する、超学際的な国際異分野融合研究教育拠点「最先端国際プロジェクト」を2019年度新たに創設し、「広島大学医療経済研究拠点」を本プロジェクトに認定しました。



(拠点長 角谷リーダー)

2019年5月「広大-理研科技ハブ連携拠点」設置

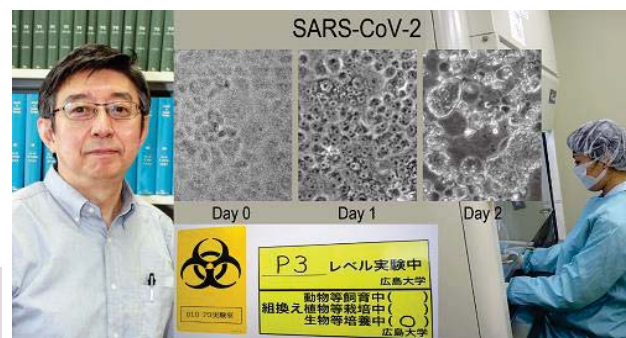
本学と国立研究開発法人理化学研究所が一体となって「科学技術ハブ」機能を形成し、産業界、大学、国研、自治体等との共創機能を強化して展開することで、基礎研究力の向上および次の基礎研究のシーズを生み出す循環システムを構築します。



■ 新型コロナウイルス対策に係る研究

本学では、昨今の新型コロナウイルス感染症に立ち向かうべく様々な研究に取り組んでいます。

医学・歯学・薬学・保健学の医療系の研究室が一丸となって（名称：広島大学CoVピースプロジェクト）、PCR検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化など、多方面のプロジェクトを進めています。ウイルス学研究室は、その中心としてP3高度封じ込め実験施設での新型コロナウイルス培養実験を行っています。



(大学院医系科学研究科 坂口教授)

新型コロナウイルス対策に係る研究成果HP  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/covid19>



■ 社会課題解決に貢献する異分野融合研究の促進

本学は、異分野融合研究促進のための取組として、良縁創出プロジェクト「広大100人論文」および「東広島100人論文」を実施しています。このプロジェクトは、分野横断促進と知り合いづくりを促進するプロジェクトで、参加者が各自の得意なことや悩みを出し合い、分野を超えたコラボレーションを創出することを目的としています。

2019年度に開催した「広大100人論文」および「東広島100人論文」では、研究紹介計80件、コメント総数約600件の参加がありました。学内で新たに研究仲間がつながるケースや、本学と他大学の研究者が直接会って話をするケースもありました。

今後も、この共創の場を通じて、異分野融合研究促進に向けて取り組んでいきます。

<良縁創出プロジェクト「広大100人論文」>

- ① 「私の研究はこんな感じです」 他分野でもわかるように簡単に説明
- ② 「こんなコラボできたら嬉しい」 目標や希望、困っていること等
- ③ 「私、こんなことができます」 提供できる知やスキルなど



(来場者が質問・コメント・アドバイスなど、自由に付箋紙に記入します)

■ 科学研究費助成事業の獲得

本学は、科学研究費助成事業への積極的な申請により、科学研究費補助金および学術研究助成基金助成金について、2019年度は採択総数1,135件、金額合計2,645,591,000円（直接経費および間接経費の合計）を獲得しており、採択件数は全国の国公私立大学の中で10番目に多い件数となっています。

更なる採択数の増加に向け、科学研究費助成事業採択経験者による助言制度、ステップアップ支援制度の導入、不採択者への研究費支援、URAによるブラッシュアップ支援等の取組を行っています。

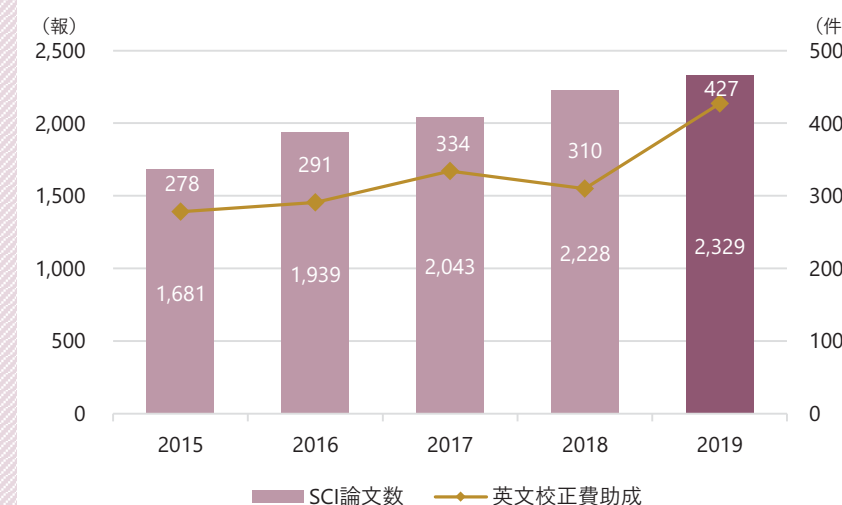


数字で見る研究

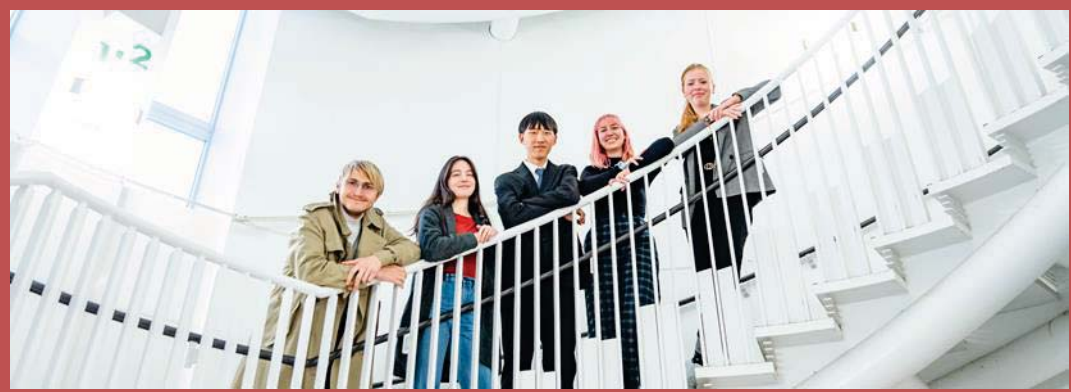
本学では、論文の被引用数向上につながるIF（インパクトファクター）の高い雑誌への投稿を目指す取組として、英文校正費の助成を実施しており、SCI論文数は着実に増加しています。

SCIとは、米国トムソン・ロイター社が運営している、科学技術分野の学術データベースです。SCIにカバーされている雑誌に掲載された論文（SCI論文）は、国際論文として評価される傾向にあります。

SCI論文数と英文校正費助成件数の推移







■ アリゾナ州立大学 (ASU) の広大グローバル校設置 国立大学初

アリゾナ州立大学 (ASU) と本学は2020年10月に「ASU/サンダーバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校 (グローバル・イニシアティブ)」を本学の東広島キャンパス内に設置し、共同で運営することで合意しました。

同校は学士課程 (4年間) のグローバル・マネジメントおよび国際貿易学のプログラムを開設し、授業はすべて英語で行います。授業は前半2年間を本学、後半2年間をASU本校で学ぶ「2+2モデル」、4年間を本学で学ぶ「4+0モデル」の2つのモデルを軸に検討しています。修了者にはASUの学士号が授与されます。学生の本格的な受入れは2021年8月を予定しています。今回の連携により、キャンパスの一層の国際化はもとより、我が国の高等教育の国際展開の牽引や自治体との連携による地方創生、地域社会の活性化への貢献も期待されます。



(萩生田文部科学大臣にご報告)

■ 多様な海外留学プログラム

国際的視野を持ち、現代社会でグローバルに活躍できる能力を育成するため、国際的キャリアや長期海外留学を念頭に置いた、学生のニーズに沿った多様な海外留学プログラムを実施しています。

<p><b>特定プログラム</b> 海外留学を通して、国際的教養人に必要となる英語力、リーダーシップ等を養い、国際的教養力を育む特定プログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Global Peace Leadership Program 対象：学部1年次生 派遣先：各学部により異なる</li> </ul>	<p><b>語学研修プログラム</b> ヨーロッパやアジア各国の現地語学学校などに留学し、外国語や文化体験、学生交流を中心に実施されるプログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏季フランス語研修プログラム 対象：学部2年次生以上 派遣先：スイス 派遣期間：3~9週間程度</li> <li>● ハンブルグ大学ドイツ語サマースクール 対象：学部生 派遣先：ドイツ 派遣期間：1か月間 (夏季休業中)</li> </ul>	<p><b>交換留学プログラム</b> 本学に在籍しながら交換留学生として、海外協定大学に留学するプログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HUSAプログラム 対象：学部生・大学院生 派遣先：各年度により異なる 派遣期間：4~10か月間</li> <li>● PEACE学生交流プログラム 対象：学部生・大学院生 派遣先：カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ 派遣期間：10日~1年間</li> <li>● 国際リンケージ型学位プログラム (ILDLP) 対象：学部生・大学院生 派遣先：インド 派遣期間：1週間~1年未満</li> </ul>
<p><b>導入型プログラム</b> 海外の協定大学で現地学生との交流やディスカッションを通じて異文化を体験し、国際交流や長期留学への関心を高める入門的なプログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● STARTプログラム 対象：学部1年次生 派遣先：台湾、インドネシア、オーストラリア、アメリカ等 派遣期間：2週間程度 (長期休業中)</li> </ul>	<p><b>インターンシッププログラム</b> 国際社会で活躍できる研究者と職業人の育成を目的としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● G.ecbo海外インターンシッププログラム 対象：大学院生 派遣先：アジア、アフリカ等 派遣期間：1~3か月間</li> <li>● ベトナム企業インターンシップ 対象：学部生・大学院生 派遣先：ベトナム 派遣期間：2週間</li> </ul>	<p>他にも様々な留学プログラムを実施しています。各プログラムの詳細は、広島大学留学ガイドブック『海外留学のススメ』でご覧いただけます。</p>
<p><a href="https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/ryugakunosusume.html">https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/ryugakunosusume.html</a></p>		

■ 森戸国際高等教育学院3+1プログラム

森戸国際高等教育学院3+1プログラムとは、広島大学初代学長森戸辰男の名を冠したユニークな留学生受入プログラムです。研究テーマに応じた学部にて特別聴講学生として配属されます。海外の大学において3年次 (あるいは2年次) まで課程を修了した学生が、9か月 (あるいは12か月) 本学で履修します。プログラム修了後3か月余りの外国人研究生としての期間を経て、大学院入試に合格すれば、大学院に進学することもできます。2019年度は159名を受入れました。



(開講式)



(修了式)

■ ポストコロナを見据えたオンライン留学

新型コロナウイルス感染拡大の影響が世界的に継続している中、本学においても学生の海外派遣型の留学プログラムの実施の目途が立たない現状を踏まえ、派遣を伴わないオンラインでの国際交流教育プログラム「e-START/START+プログラム」を新設し、2020年度後期より試行的に実施することとなりました。

新しい国際教養ゼミとして、自由で多様なテーマ設置のもと、本学の学生が海外の協定大学の学生と自らが設定した課題について協働で研究・発表することを通して、グローバル人材としての資質を身に付け、国際交流や長期留学への関心を高めることが目的です。併せて、ポストコロナを見据えたニューノーマルに求められる新たな国際スキルとして、時差の問題を含めて海外の学生とのオンラインツールを利用した協働作業や交流のあり方を学びます。

将来的にはプログラムを拡大し、すべての学生がバーチャルな形での海外経験を積むプログラムとすることを計画しています。



数字で見る国際

■ THE世界大学インパクトランキング国内総合4位

イギリスの高等教育専門誌Times Higher Educationが4月「THE大学インパクトランキング2020」を発表しました。

本学は、SDG4 (質の高い教育をみんなに) とSDG6 (安全な水とトイレを世界中に)、SDG11 (住み続けられるまちづくりを) の3項目でいずれも国内1位。総合スコアでも北海道大学、東京大学、東北大学に次ぐ4位となりました。



広島大学の目標スコア TOEIC® L&R 730点

海外留学に必要なスコアであり、また民間企業、公務員・教員採用試験で加点が得られるスコアです。

2016年度  
730点到達学生数 695人

- TOEIC® L&Rテスト 無料受験枠の拡大
- 学生一人ひとりに 目標スコアを設定
- グローバルコンソ ンの設置

SGUタイプA<sup>※1</sup> (トップ型) 採択大学中 2018年度 上昇率 2.2倍 1位<sup>※2</sup>

2019年度 1483人

※1 文部科学省が実施する「スーパーグローバル大学創成支援事業」選定大学のうち、世界トップレベルの教育研究を行う13大学  
※2 独立行政法人日本学術振興会「スーパーグローバル大学創成支援事業」令和元年度フォローアップ結果に基づくもの

社会連携



国際交流拠点施設の整備

本学は、イノベーション創出、内外の多様な人々の交流と知識の循環、海外のトップ研究者や優れた留学生に対する安全で快適な居住空間の提供など複合的な機能を持つ「国際交流拠点施設」の整備事業を、2021年秋の開設を目指して進めています。

2019年10月、東広島市と「国際的研究拠点東広島」の形成に向けて協定を締結しており、本事業はその最初の取組として、東広島市からも支援を受けています。

本施設は、「緑で紡ぐ交流の丘」を設計コンセプトとし、持続可能社会を体現するシンボリックな外観デザインとしています。1・2階は多彩な交流空間、イノベーション創出空間をもつとともに、3～7階の宿舍スペースでは入居者同士の交流を促進する交流ラウンジなどを配置し、交流を図る設計となっています。7階には国内外から招くトップクラスの研究者向けの居室も設けています。



Town & Gown Office (タウン・アンド・ガウンオフィス) 準備室設置

Town & Gown Office は、欧米の大学立地都市を参考に、タウン（街）とガウン（学生や教員）が一体となったまちづくりや、地域におけるSDGsの達成に向けた課題の解決に取り組む組織です。広島大学（大学）と東広島市（都市）が協働し、持続可能で魅力的なまちを目指す「Town & Gown構想」の実現に向けて、地域発展の新たなモデルを構築します。

大学は知見や研究力を、市は様々な行政データを提供し、二人三脚で地域課題の解決を図るとともに、最先端の技術を取り入れながら新たなイノベーションが生まれ、世界から起業家や研究者たちが集まるまちを目指します。

推進するプロジェクトの活動内容

- 共同事業の日常業務化・・・市の各業務部署が担う地域課題と教員の科研費テーマおよび講義内容のマッチング
- エビデンスに基づく政策・行政・・・行政データのオープンデータ化による共同事業の連携・日常業務化、EBPMの推進
- 外国人との共生モデルタウンの形成とグローバル教育産業の誘致・・・広島大学を中心としたスーパーシティ構想の推進、
- 科学技術を活用した次世代の学園都市形成
- アントレプレナーのエコシステム形成とイノベーション人材育成・支援・・・ふるさと納税を活用したエコシステムの形成、学生の起業支援等



組織的な産学連携への取組

2019年10月、基礎研究から産学連携・技術移転まで一貫したシームレスな研究マネジメント体制を構築するため、研究推進機構と社会産学連携推進機構を統合し「学術・社会連携推進機構」を設置しました。

同月、企業の事業戦略に深く関わる大型共同研究の獲得・推進を通じて、世界的な革新的事業の創出を行い、日本経済・地域経済の活性化を図ることを目的として、学長直轄となる組織「オープンイノベーション事業本部（HOIP）」を設置しました。西日本随一の地方におけるイノベーション拠点として、世界トップレベルの教育・研究水準を連続的に事業化する組織・仕組みを整備し、新産業の創出を目指します。



広島ががら山実証実験プロジェクト

広島大学防災・減災研究センターは、平成30年7月豪雨災害を機に、従来の防災学・減災学では対応できない『相乗型豪雨災害』に対応する学際的研究集団組織として設置しました。センターでは、崩壊・土石流が集中発生する『相乗型豪雨災害』のメカニズムを解明するため、東広島キャンパスの敷地内にある「ががら山」を使った「ががら山実証実験フィールド全体構想」に取り組んでいます。

本プロジェクトはその第一歩として、山頂付近の第1観測地点に、地下水調査のための観測井と地下水のデータを集めるための機器、地形の観測を行うための衛星測位システムなどを設置し、天候の変化と地表や地中のデータを収集し、土砂災害のメカニズムの解明と早期避難につながる予測技術の研究開発に取り組んでいきます。

この整備は、クラウドファンディングで資金を募り、3,553,000円のご支援いただきました。今後も、自治体や地域住民の皆様と連携し、研究成果をスピード感を持って実践・検証につなげていきます。

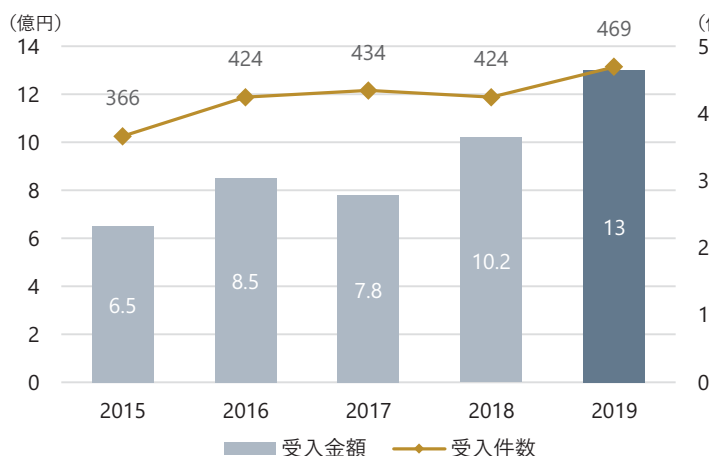


(第1観測地点で観測する様子)

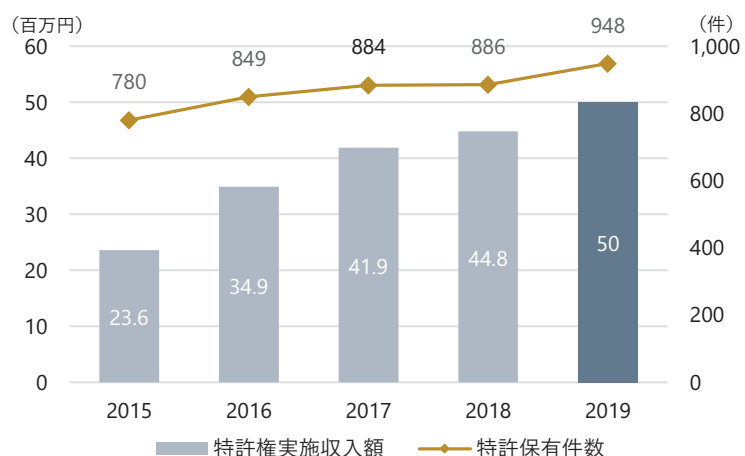
広島大学防災・減災研究センターHP <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hrrc>

数字で見る社会連携

共同研究受入件数と受入金額の推移



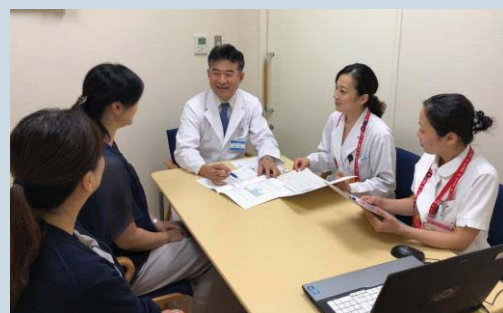
特許保有件数と特許権実施収入額の推移





### ■ がんゲノム医療拠点病院

2019年9月、本院は、がんゲノム医療拠点病院に指定され、2020年1月からエキスパートパネルを開始し、院内の患者さんのもとより、広島県内のがんゲノム医療連携病院と連携しながら、がんに対する最先端の診療を提供していく体制を整備しています。本院は中四国で唯一の小児がん拠点病院であり、小児がんの領域でもがんゲノム医療による新しいがん診療を推進しています。



(患者さんへの説明の様子)

### ■ 病院機能評価認定

2020年6月、本院は病院への第三者評価機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価（3rdG：ver.2.0）」を受審し、「一般病院3」の認定を取得しました。

審査は「書面審査」、「訪問審査」が行われ、以下の4つの領域について評価されました。

- 第1領域 患者中心の医療の推進
- 第2領域 良質な医療の実践1
- 第3領域 良質な医療の実践2
- 第4領域 理念達成に向けた組織運営

今後も、「全人的医療の実践」、「優れた医療人の育成」、「新しい医療の探求」の3つ理念の下、医療の質の向上に努力していきます。



### ■ 「看護師特定行為」県内初の研修指定校

本院は2019年度から、在宅医療を進めるため一定の診療補助を行う看護師を養成する「看護師特定行為研修」指定校になり2019年5月、開講式がありました。広島県内では初の研修機関となり、県内から集まった6人が受講しました。

特定行為は研修を受けた看護師が、呼吸器の調整や創傷管理など21区分38の診療補助行為を手順書に従えば、医師の判断を待たず実施できるとするものです。本院では、このうち6区分について約1年間にわたり研修しました。



(修了式)

### ■ エジプトの医学生たちが手術支援ロボット「ダヴィンチ」を体験

エジプト留学生の医学生35人が来日し、2020年2月に本院で最新の手術支援ロボット「ダヴィンチ」を実習見学するとともに、新型コロナウイルスに関する特別講義に耳を傾けました。

手術室では、泌尿器科の亭島准教授からダヴィンチの操作方法について説明を受けた後、3次元画像で映し出されるモニター画像をのぞきながら手元のハンドルでロボットアームを操作しました。

実際にミニチュアのコーンに輪を入れたり出したりする作業に、目を輝かせながら挑戦しました。



(実習見学)

### ■ ネパール人医師がてんかんセンターでJICA事業研修

ネパールで、てんかんを正しく理解し、適切な診断・治療ができる医療従事者の教育・養成を目的として、本院てんかんセンターと国際協力機構（JICA）が協力して実施する草の根技術協力事業が始まり、2020年2月から2人のネパール人医師が研修しました。



(研修での意見交換)

### ■ 新型コロナウイルス感染症対応

本院は広島県内唯一の三次救急医療機関として、他院での受入れが困難な患者を含めた最重症救急患者を県内全域より幅広く受入れるとともに、新型コロナウイルス感染症の対応にあたっては、第一種感染症指定医療機関として、最重症例の患者を受入れ、治療にあたっています。

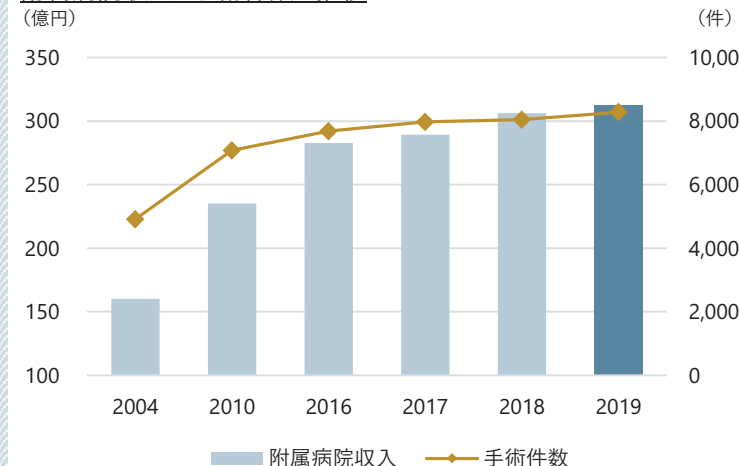
また、広島県内唯一の医育機関として、高度医療人材の育成を実践しており、新型コロナウイルス感染症の対応にあたっては、高度な医療技術を要するECMO（体外式膜型人工肺）を取扱う人材育成のため、研修会等を実施しています。



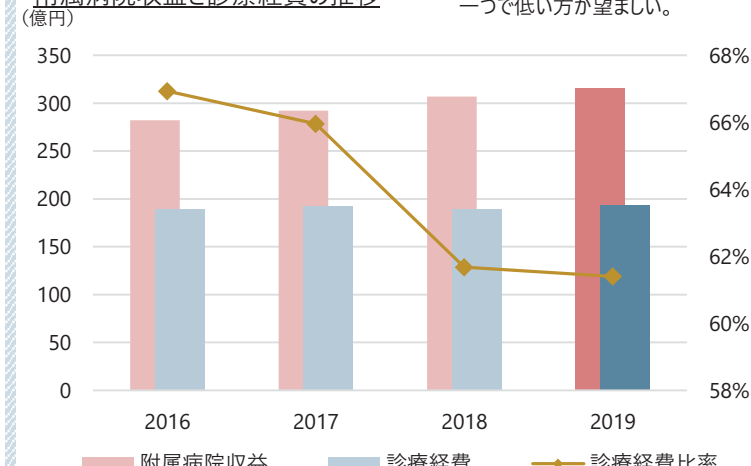
(研修会)

### 数字で見る病院

附属病院収入と手術件数の推移



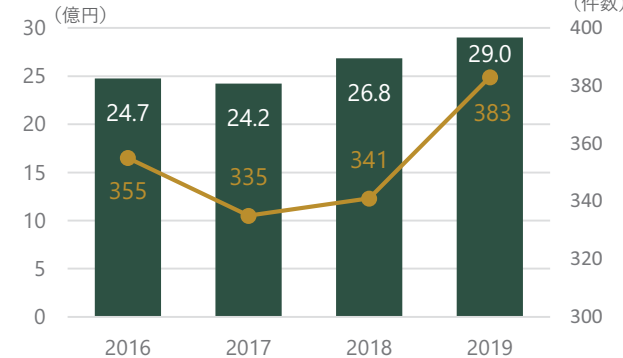
附属病院収益と診療経費の推移



# 数字で見る 広島大学



## 受託研究



## 図書館 蔵書数



約 **347** 万冊

## 入館者



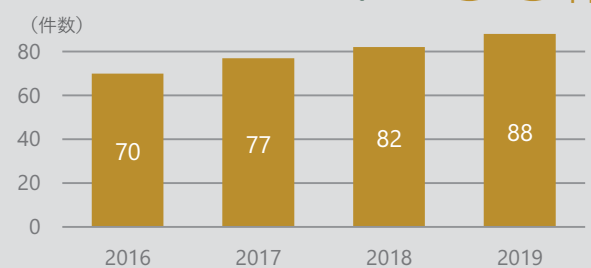
約 **102** 万人

(2019年度)

## 包括的研究 協力協定



**88** 件



## 教員



**1,831** 人

## 職員

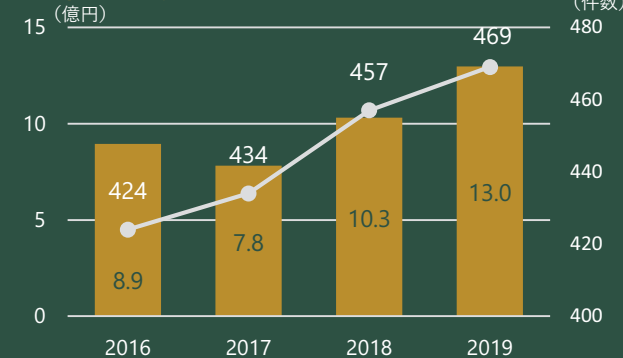


**1,724** 人



広島大学

## 共同研究

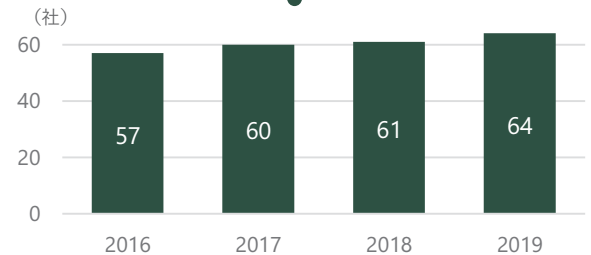


HIROSHIMA  
UNIVERSITY

## 広大発 ベンチャー



累計 **64** 社



## 学部生



**10,678** 人

## 大学院生



**4,513** 人

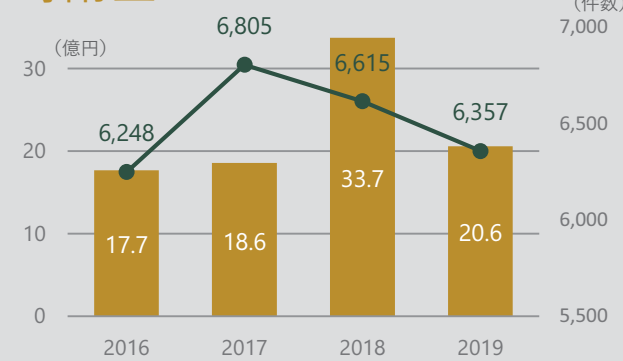
## 受入留学生



**82** か国・地域

**3,216** 人

## 寄附金



## 土地面積

約 **314** 万㎡

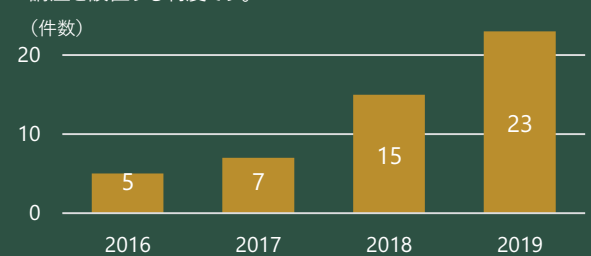
## 建物面積

約 **67** 万㎡

## 共同研究講座

「共同研究講座」とは、企業などと大学が共同で広島大学内に研究講座を設置する制度です。

**23** 講座



## 学部

総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、生物生産学部、情報科学部

**12** 学部

## 大学院

大学院改革により、研究科を再編・大括り化

人間社会科学研究科 (2020設置)  
先進理工系科学研究科 (2020設置)  
統合生命科学研究科 (2019設置)  
医系科学研究科 (2019設置)

**4** 研究科

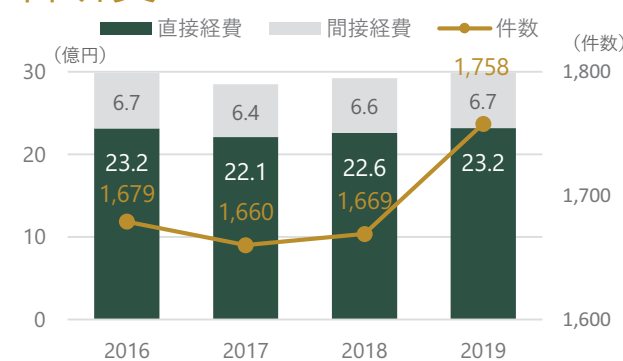
## 日本人学生派遣



**30** か国・地域

**584** 人

## 科研費



## 大学病院 病床数



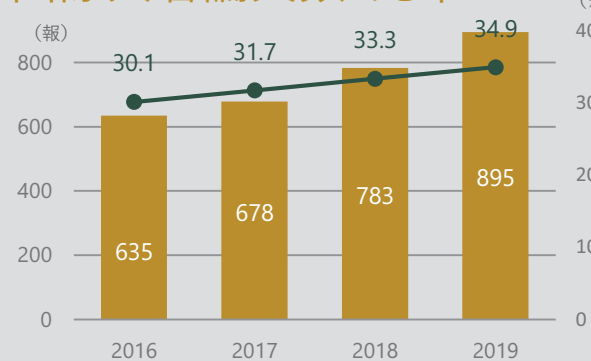
**746** 床

## 病床稼働率



**86.6%**

## 国際共著論文数・比率



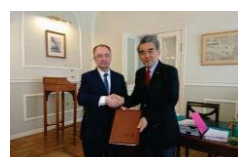
## 博士学位授与数



**367** 人

## 国際交流協定 (大学間)

**53** か国・地域 **334** 機関

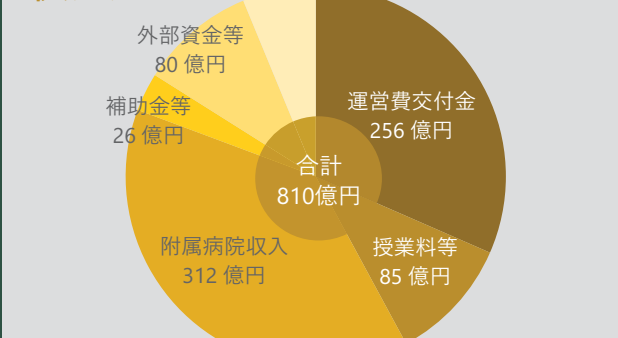


**370** 協定

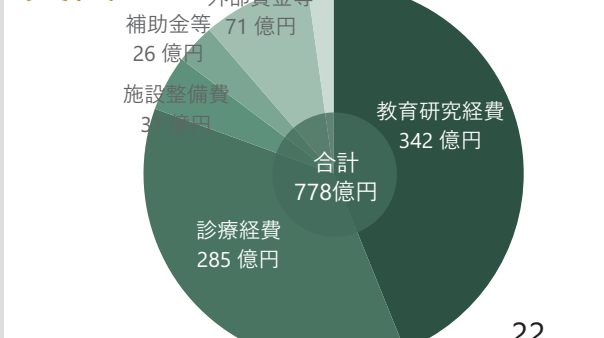
## 創立

- 1874 前身の白鳥学校創設
  - 1949 広島大学創設
  - 1995 東広島キャンパス統合移転完了
  - 2004 国立大学法人広島大学発足
  - 2020 アリゾナ州立大学日本校を広島大学キャンパス内に設置
  - 2024 創立75+75周年
- 前身を含めると **146** 年

## 収入



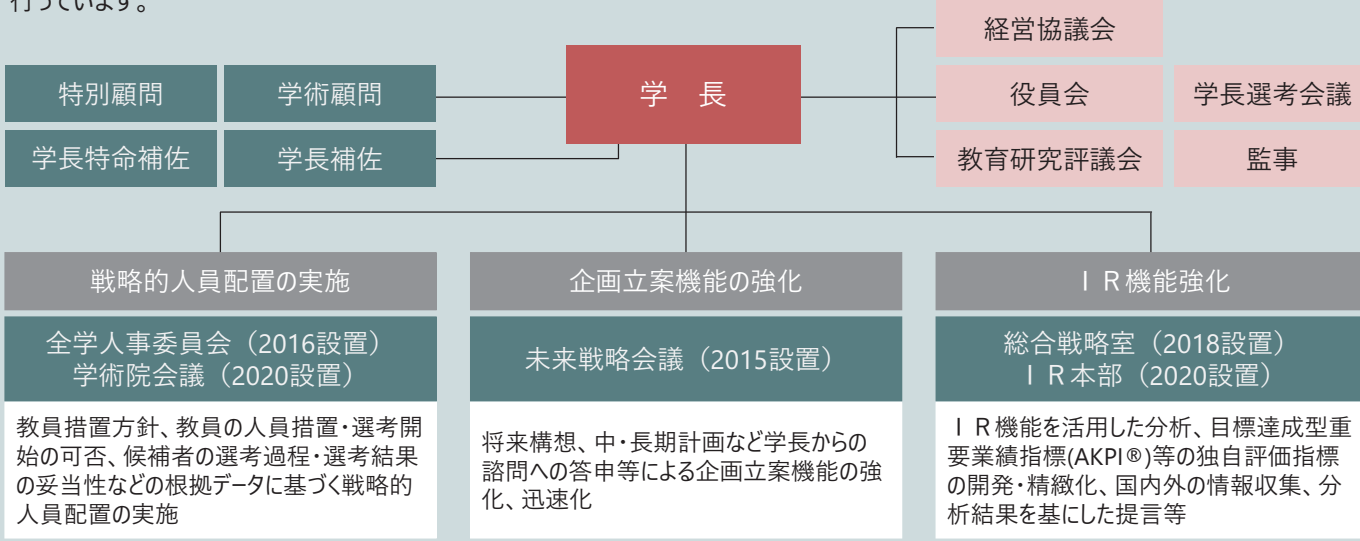
## 支出





広島大学のガバナンス体制

本学では、国立大学法人法で定められたガバナンス体制に加え、「持続可能な発展を導く科学を实践する世界的な教育研究拠点」を目指すため、学長のリーダーシップによる戦略的な企画、立案、実行が可能となるガバナンスとマネジメントの一体改革を行っています。



経営協議会

大学の経営に関する重要な事項を審議する機関として、経営協議会を設置しています。経営協議会は、学長、理事である学内委員のほかに、大学に関して広くかつ高い見識を有する学外委員により構成しており、学外委員からの意見を取り入れることにより、よりよい大学経営を行う体制としています。

学外委員 (2020年5月1日現在)

株式会社中国新聞社代表取締役社長	岡島 鉄也	公立大学法人熊本県立大学理事長	白石 隆
中国電力株式会社代表取締役会長	苅田 知英	三菱重工業株式会社特別顧問	佃 和夫
福島県健康医療対策対策監・一般財団法人脳神経疾患研究所常任顧問	菊地 臣一	株式会社イズミ代表取締役社長	山西 泰明
芝浦工業大学客員教授	國井 秀子	山形大学名誉教授 (前山形大学長)	結城 章夫
長浜バイオ大学特別客員教授・元お茶の水女子大学学長	郷 通子	株式会社三菱ケミカルホールディングス執行役 常務、CIO兼CTO、先端技術・事業開発室長	ラリー・マイクスナー

人事給与マネジメント改革

本学では、2020年4月から以下の新たな人事給与制度を導入しています。若手をはじめとする全世代の教員にとって将来に希望の持てる魅力ある制度を導入し、教員個々のモチベーション向上や能力発揮による大学全体の教育研究力の向上を図ります。

新たな年俸制

文部科学省のガイドラインおよび全学的な意見交換会などを踏まえ検討を重ね導入した、業績評価結果等に基づくメリハリのある処遇反映を可能とする新たな年俸制です。

広大版テニュアトラック制度

若手ポスト (准教授、講師、助教) で採用される教員に原則テニュアトラック制を適用、5~7年後にテニュア審査を行い、審査に合格すれば上位職への昇任も可能な新たな制度です。(2019年4月以降、本制度で公募)



広島大学の改革と教員人事制度HP <https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/personnelsystem>

研究費等の不正使用防止等に関する取組

本学では、研究費等の不正使用を防止するための対策の基本方針として「研究費等の不正使用防止計画」を定め、研究費等の適正な運営・管理の基盤となる環境を整備するとともに、不正を発生させる要因を把握・分析するなど、不正使用を防止するための取組を実施しています。

また、本学では、文部科学省による「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン (実施基準)」で対象となっている「文部科学省等から配分されている公募型の研究資金」から範囲を拡大し、「本学が管理するすべての経費」を対象に、これらの取組を実施しています。

2020年度からは、eラーニングを用いた本学独自のコンプライアンス教育教材を新たに作成し、研究費等を使用する教職員等を対象に実施しており、不正使用防止等に係る意識の向上に努めています。

コンプライアンス教育の実施

2020年度からは、実効的な教育とすることを目的に、これまでの講義形式を改め、研究企画担当副理事を講師としたeラーニングを用いたコンプライアンス教育を開始しました。

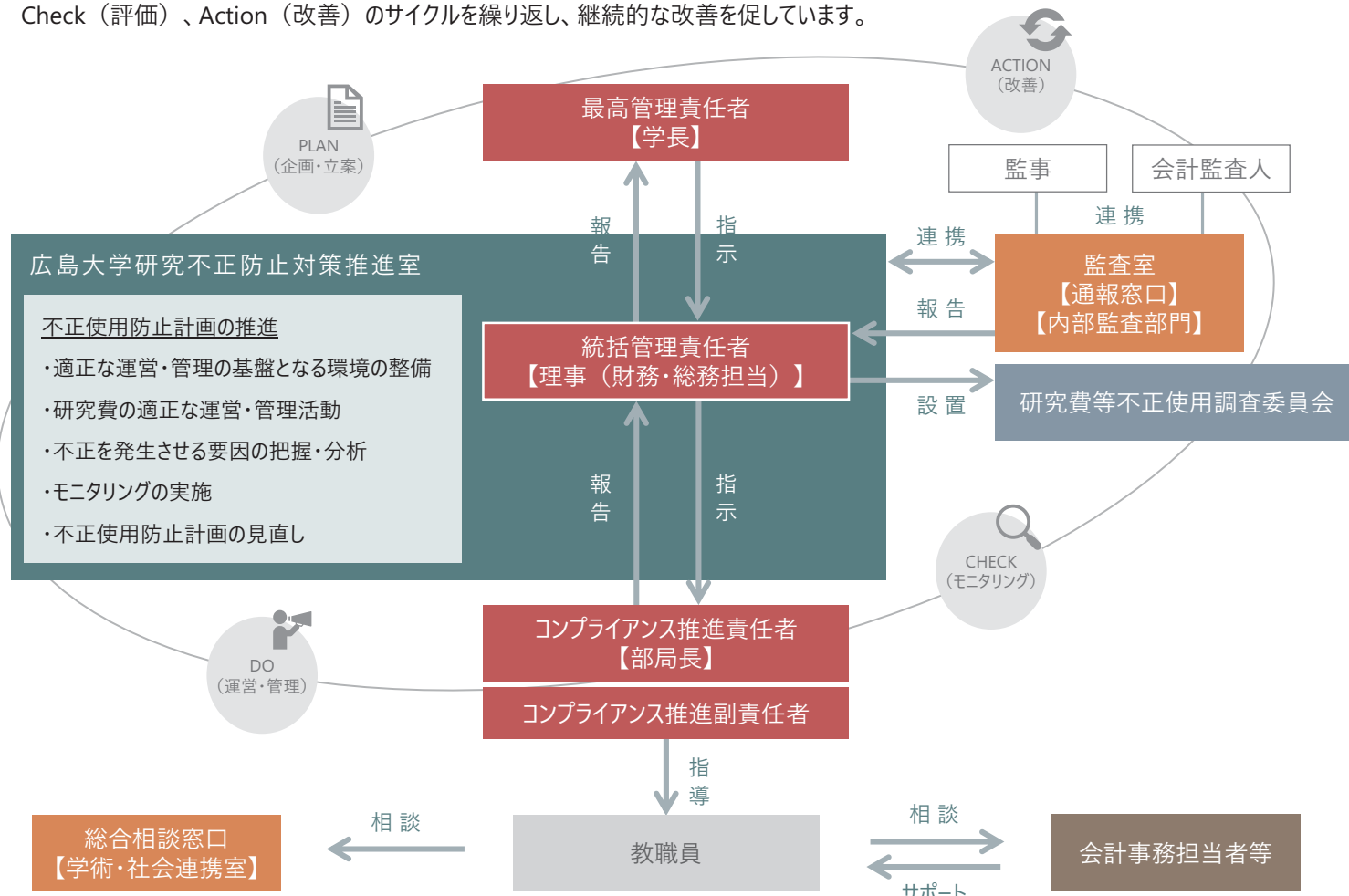
研究費等を使用する教職員等が、本学における会計手続きを改めて理解し、実際に本学で起こりうる不正使用等への認識を深めることで、研究費等の不正使用を防止できる環境を醸成しています。



(副理事 (研究企画担当) によるコンプライアンス教育)

研究費等の運営・管理体制

研究費等の運営・管理、および不正使用防止等については、最高責任者である学長を中心に、以下の体制を構築しています。関連部署が、体系的に「研究費等の不正使用防止計画」に基づいた取組を実施することで、Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) のサイクルを繰り返し、継続的な改善を促しています。





貸借対照表 B/S

貸借対照表は、財政状態を明らかにするため、貸借対照表日（3月31日）におけるすべての資産、負債および純資産を記載しています。

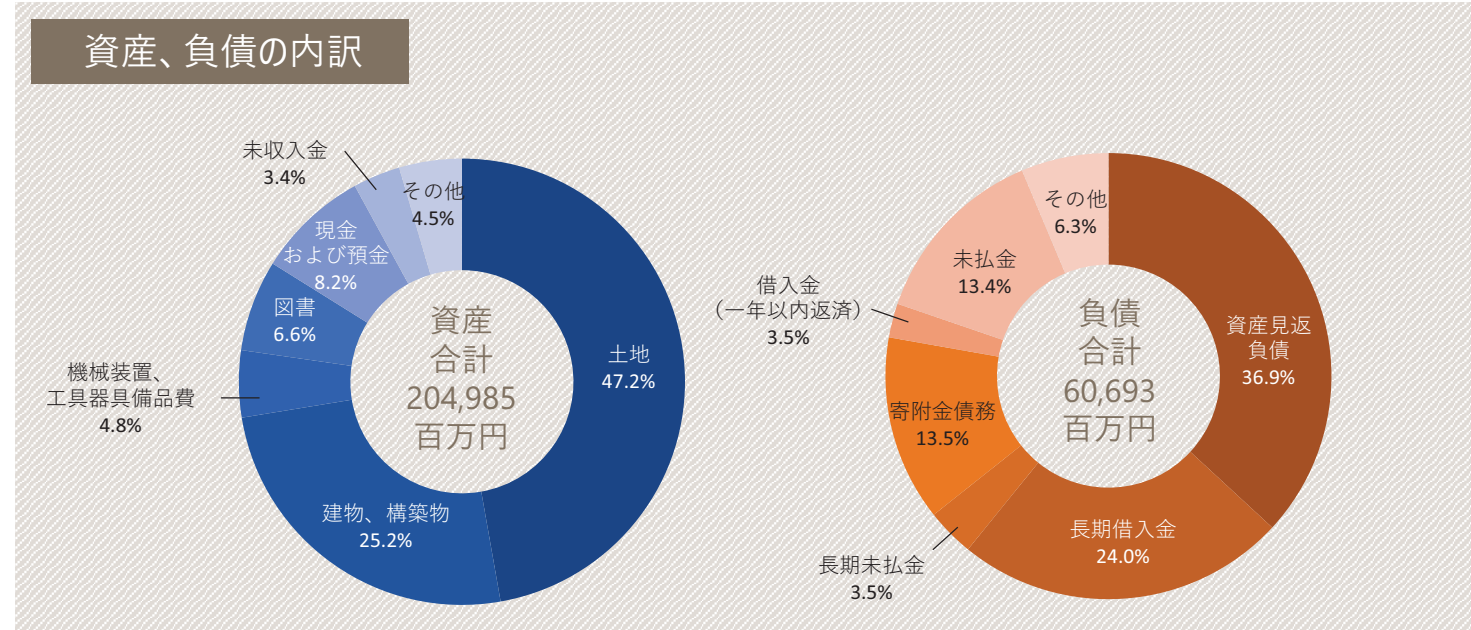
2019事業年度決算では、資産の部が2,050億円（対前年度+60億円）、負債の部が607億円（対前年度+43億円）、純資産の部が1,443億円（対前年度+17億円）となりました。

（単位：百万円）

科目	2017	2018	2019	前年比
<b>資産の部</b>	198,774	198,962	204,985	6,023
<b>I 固定資産</b>	177,413	173,296	174,968	1,672
1 有形固定資産	176,401	171,736	173,168	1,432
土地	96,808	96,808	96,796	▲ 12
建物、構築物	55,243	52,939	51,660	▲ 1,278
機械装置、工具器具備品	9,355	7,497	9,932	2,434
図書	13,838	13,553	13,555	2
建設仮勘定	350	190	632	442
その他	807	749	593	▲ 156
2 無形固定資産	511	460	400	▲ 60
3 投資その他の資産	500	1,100	1,400	300
<b>II 流動資産</b>	21,361	25,666	30,017	4,351
現金および預金	6,080	11,525	16,709	5,184
未収入金	6,678	6,329	7,020	691
有価証券	8,056	7,148	5,612	▲ 1,536
その他	548	663	676	13
<b>負債の部</b>	57,646	56,397	60,693	4,297
<b>I 固定負債</b>	41,658	38,832	40,065	1,233
資産見返負債	22,952	21,735	22,378	643
長期借入金	17,614	16,051	14,552	▲ 1,498
<b>長期未払金</b>	377	227	2,113	1,886
その他	715	819	1,022	203
<b>II 流動負債</b>	15,988	17,565	20,628	3,063
運営費交付金債務	20	40	48	8
<b>寄附金債務</b>	5,885	7,583	8,171	588
前受受託研究費等	782	1,002	1,198	196
借入金（一年以内返済）	1,589	1,564	1,498	▲ 65
未払金	6,233	5,857	8,139	2,283
その他	1,479	1,520	1,573	53
<b>純資産の部</b>	141,128	142,565	144,292	1,727
<b>I 資本金</b>	147,215	147,215	147,209	▲ 6
<b>II 資本剰余金</b>	▲ 14,354	▲ 15,812	▲ 15,938	▲ 126
<b>III 利益剰余金（当期末処分利益除く）</b>	6,688	8,223	10,858	2,635
<b>IV 当期末処分利益</b>	1,579	2,939	2,162	▲ 777

前事業年度と比較した主な増減要因

<p><b>土地</b></p> <p>福山市の歩道整備事業協力のため、附属福山中・高等学校（春日団地）の土地の一部を売却したことにより減少しています。 この土地売却により、資本金が減少しています。</p>	<p><b>建物、構築物</b></p> <p>東広島・霞キャンパスの図書館および霞キャンパス総合研究棟（歯学系）改修などによる増加の一方、減価償却に伴う減少が資産の増加を上回ったことから、全体で13億円減少しています。</p>
<p><b>長期未払金</b></p> <p>総合病院情報システムのリースなどの開始により、全体で19億円増加しています。 また、このリース資産を計上したことなどにより、機械装置、工具器具備品費が増加しています。</p>	<p><b>福山通運小丸賑わいパビリオン</b></p> <p>学生が多目的に使用できる施設「福山通運小丸賑わいパビリオン」が完成しました。この建物は、福山通運株式会社および公益財団法人渋谷育英会の寄贈で、ヤマネホールディングス株式会社が施工しました。 このパビリオンは飲食も可能なフリースペースで、学生の起業活動や集会、自習など多目的に使用できます。本学は、この施設を活用して、学生の修学環境の充実を図るとともに、自発的な活動を支援します。</p>  <p>福山通運小丸賑わいパビリオン 東広島キャンパス中央図書館北側に設置</p>
<p><b>寄附金債務</b></p> <p>企業・団体や個人の皆様から本学にお寄せいただいた寄附の残高です。国立大学法人の会計制度では、寄附金は受入れ時に負債計上し、経費の使用に応じて収益等へ振り替えます。 広島大学基金へのご寄附の増加などにより年々増加しており、2019年度は前年比で6億円増加しています。</p> <p><b>財務</b> 寄附金受入時の会計処理 財務情報 国立大学法人の会計制度 「収益の認識」 35ページ</p> <p><b>基金</b> 広島大学基金の受入実績 広島大学基金 「広島大学基金の状況」 38ページ</p>	





損益計算書 P/L

損益計算書は、運営状況を明らかにするため、一会計期間におけるすべての費用と収益を記載し、当期純利益を表示しています。国立大学法人は公共的な性格を有し、利益の獲得を目的としていないことから、民間企業とは異なり、経営成績ではなく運営状況を明らかにするために損益計算を行います。

2019事業年度決算では、経常費用が767億円（対前年度+27億円）、経常収益が787億円（対前年度+18億円）、当期総利益が22億円（対前年度▲8億円）となりました。

（単位：百万円）

科目	2017	2018	2019	前年比
経常費用	73,311	73,981	76,685	2,704
業務費	71,688	72,290	74,415	2,125
教育経費	4,169	3,954	4,007	53
研究経費	4,664	4,905	5,434	529
診療経費	19,280	18,927	19,392	464
教育研究支援経費	1,085	1,418	1,517	99
受託研究費等	3,493	3,728	4,263	536
人件費	38,997	39,358	39,802	445
一般管理費	1,346	1,427	2,023	597
財務費用	223	186	202	16
雑損	54	78	44	▲34
臨時損失	14	27	26	▲1
費用合計	73,325	74,007	76,710	2,703
経常収益	74,755	76,876	78,653	1,777
運営費交付金収益	25,444	25,344	25,441	97
学生納付金収益	8,705	8,876	8,773	▲103
附属病院収益	29,232	30,688	31,585	897
受託研究等収益	4,049	4,389	5,034	644
寄附金収益	1,634	1,704	1,547	▲156
施設費収益	73	279	1,395	1,116
補助金等収益	1,805	1,611	1,610	▲1
財務収益	133	128	35	▲93
雑益	1,289	1,384	1,346	▲39
資産見返負債戻入	2,390	2,473	1,889	▲585
臨時利益	149	27	25	▲2
収益合計	74,904	76,903	78,678	1,775
当期純利益	1,579	2,896	1,968	▲928
目的積立金取崩額	-	44	195	151
当期総利益	1,579	2,939	2,162	▲777

■ 前事業年度と比較した主な増減要因

**研究経費、一般管理費**  
霞キャンパス総合研究棟（歯学系）などの研究棟の改修工事、平成30年7月豪雨災害の復旧工事などの影響により、研究経費は全体で5億円、一般管理費は全体で6億円増加しています。これらの工事は主に国から交付された施設費により実施しており、これらの経費の増加に対応して施設費収益が増加しています。

**平成30年7月豪雨災害復旧工事**  
2018年7月に西日本を襲った豪雨災害は、甚大な被害と爪痕を残しました。本学も学内で数か所の土砂崩れが発生するなど被害を受けました。2019年度には、こうした被災箇所の復旧工事を実施しました。



**附属病院収益**  
手術件数の増加、高額医薬品使用の増加などにより、全体で9億円増加しています。

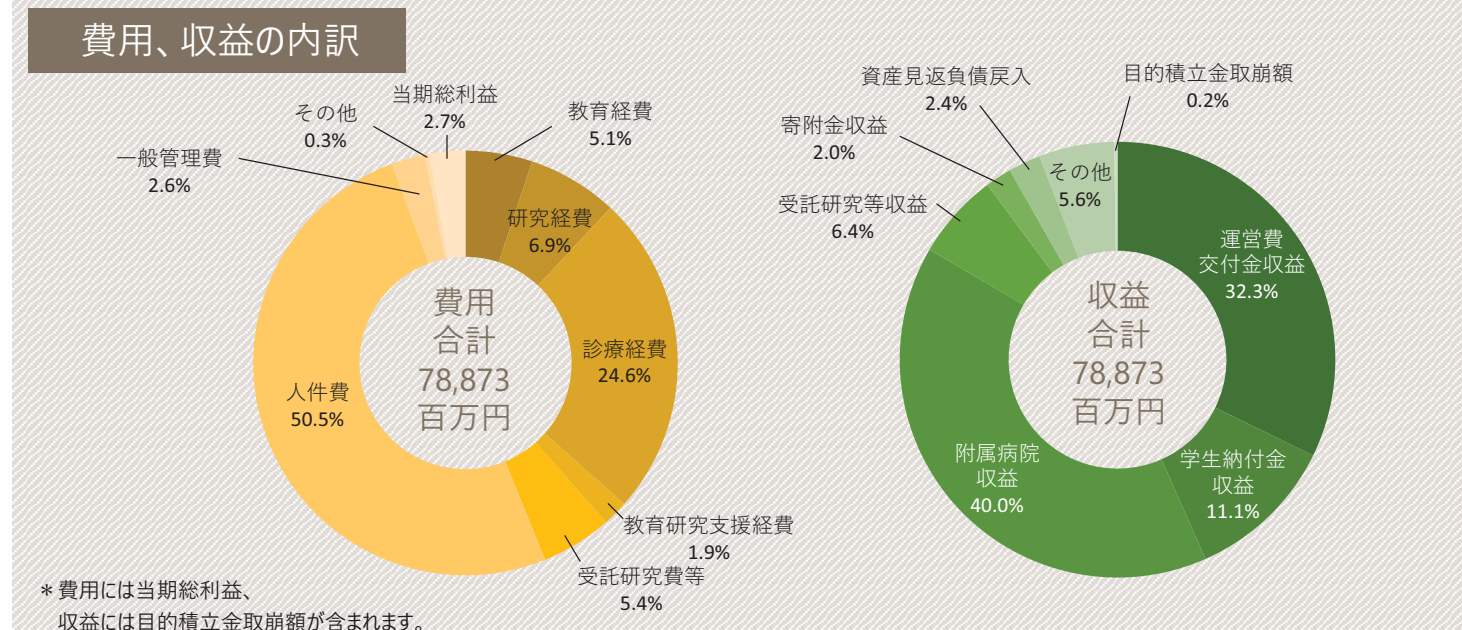
病院 手術件数等  
活動実績 病院  
「数字で見る病院」20ページ

**目的積立金取崩額**  
目的積立金とは、業務の効率化による経費の節減や積極的な自己収入増加を図ったことなど、経営努力により生じた利益として、文部科学大臣に用途の承認を受けたものです。目的積立金を取り崩して使用した場合、費用相当額の目的積立金取崩額を計上します。

2019年度は、若手教員の雇用推進などのため目的積立金の一部を活用し、全体で2億円増加しています。本学では、優秀な若手教員の活躍の場を拡大し教育研究を活性化するため、若手教員の雇用計画を策定し、雇用を推進しています。

社会連携 その他の目的積立金を活用した事業  
活動実績 社会連携  
「国際交流拠点施設の整備」17ページ

財務 目的積立金  
財務情報 国立大学法人の会計制度  
「国立大学法人の利益」36ページ



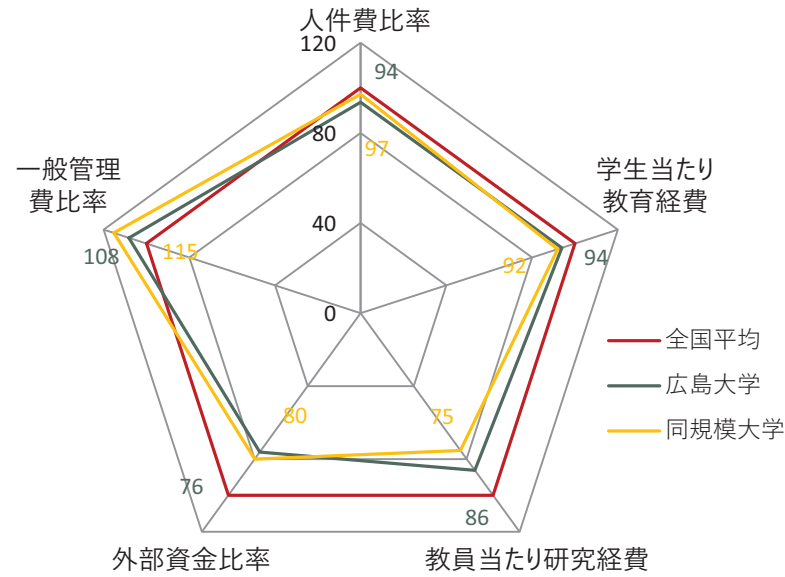
財務指標

財務指標は、国立大学法人の活動状況を把握するための参考情報の一つであり、財務の健全性・効率性および活動性等の観点から分析を行ったものです。

なお、右のチャートは、2019事業年度決算における全国立大学の平均値を100とし、同規模大学（※）と本学を比較したものです。比率が低い方が望ましい指標（人件費比率、一般管理費比率）については、逆数を用いており、グラフ上はすべて外側に行くほど財務上の評価が高くなるようにしています。

※ 同規模大学

筑波大学、千葉大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

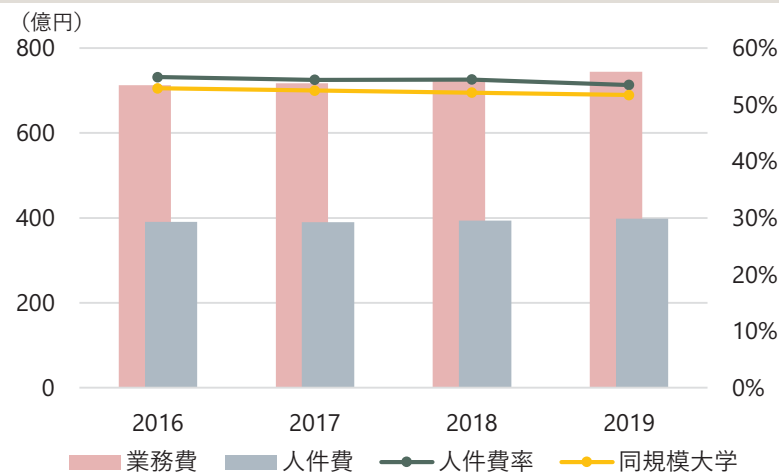


業務費に占める人件費の割合を示す指標です。

人件費比率

2019事業年度決算においては、研究経費や診療経費の増加（ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラムの実施、高額医薬品の増加等）等による業務費の増加により、人件費比率が減少しています。同規模大学と比較すると、高い比率となっており、病院セグメントにおける業務の内製化等が要因です。

	2016	2017	2018	2019
人件費比率	54.9%	54.4%	54.4%	53.5%
人件費(億円)	390.8	390.0	393.6	398.0
業務費(億円)	712.3	716.9	722.9	744.2



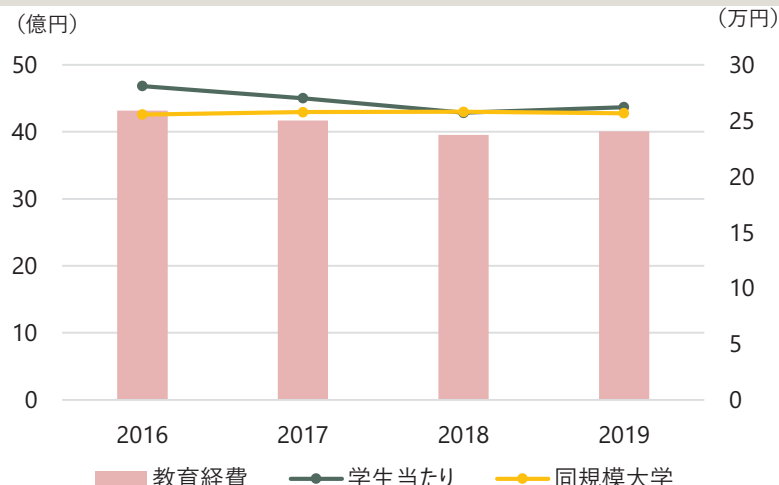
学生当たり教育経費

学生一人当たりの教育経費を示す指標です。

2019事業年度決算においては、工学部講義棟の改修工事や授業料等免除実績の増加等により、教育経費が増加しています。学生当たり教育経費は、同規模大学と比較すると高い比率となっています。

※教育経費には、教員人件費は含まない

	2016	2017	2018	2019
学生当たり(万円)	28.1	27.0	25.7	26.2
教育経費(億円)	43.2	41.7	39.5	40.1
学生数(人)	15,310	15,424	15,384	15,281

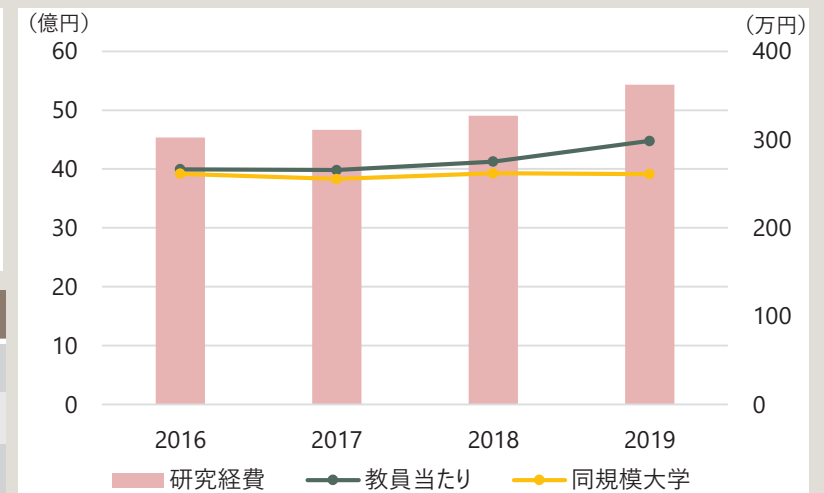


教員当たり研究経費

教員一人当たりの研究経費を示す指標です。

2019事業年度決算においては、デジタルイノベーションを担う人づくり等を柱とした「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」の実施や歯学部研究棟の改修工事等により、研究経費が増加しています。教員当たり研究経費は、同規模大学と比較すると高い比率となっています。

	2016	2017	2018	2019
教員当たり(万円)	266.4	265.4	275.1	298.5
研究経費(億円)	45.3	46.6	49.1	54.3
教員数(人)	1,701	1,757	1,783	1,820

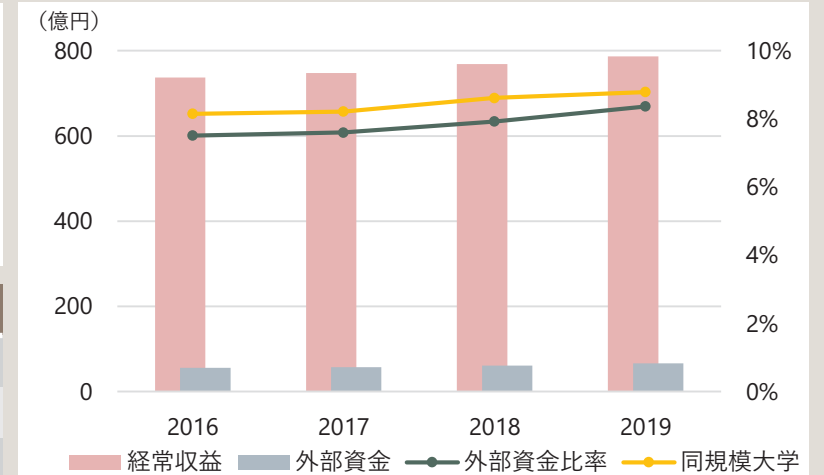


外部資金比率

経常収益に占める外部資金の割合を示す指標です。

2019事業年度決算においては、共同研究講座の増加等により、外部資金比率が増加しています。同規模大学と比較すると、低い比率となっています。外部資金の積極的な獲得が重要であることから、オープンイノベーション事業本部の設置等により企業との継続的な共同研究の組成を推進しています。

	2016	2017	2018	2019
外部資金比率	7.5%	7.6%	7.9%	8.4%
外部資金(億円)	55.4	56.8	60.9	65.8
経常収益(億円)	737.3	747.6	768.8	786.5

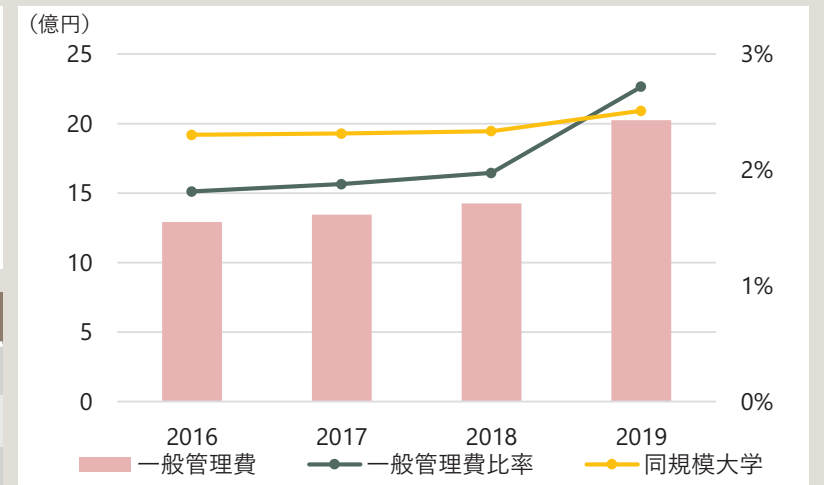


一般管理費比率

業務費に占める一般管理費の割合を示す指標です。

2019事業年度決算においては、平成30年7月豪雨災害の復旧工事により、一般管理費比率が上昇しています。同規模大学と比較すると高い比率となっており、事務部門の経費節減努力や長期契約を締結している電気需要契約の見直し等による減少があった一方、それを上回る復旧工事を行ったことが要因です。

	2016	2017	2018	2019
一般管理費比率	1.8%	1.9%	2.0%	2.7%
一般管理費(億円)	12.9	13.5	14.3	20.2
業務費(億円)	712.3	716.9	722.9	744.2



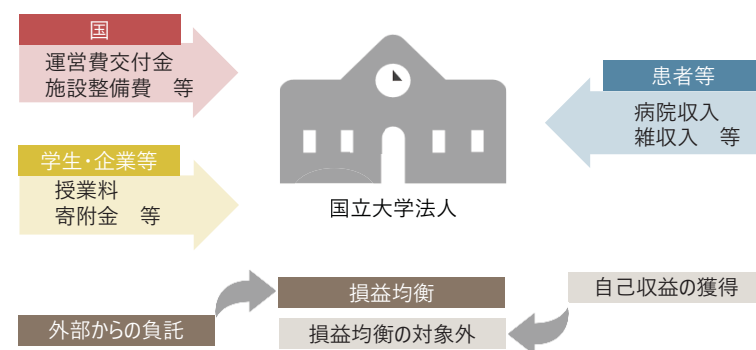
## 国立大学法人の会計制度

国立大学法人の会計制度は、原則として企業会計によりますが、国立大学法人の特性を考慮し、企業会計には見られない特有の会計処理を取り入れています。より多くの皆様に本学の財政状態や運営状況を知っていただくために、国立大学法人会計の会計制度について説明します。

### 国立大学法人の収入

国立大学法人は、学生からの授業料等の学生納付金や病院収入等の自己収入、国からの運営費交付金等で運営されています。

これらの収入は、収入源の性質に応じて会計処理が行われます。



### 国立大学法人と民間企業の違い

国立大学法人は、公共的な性格を有し、利益の獲得を目的とせず、独立採算性を前提としないなどの特性に加え、主たる業務内容が教育・研究等であるなどの特性があります。

そのため、通常の業務運営を行った場合、基本的には利益は生じず、損益が均衡する仕組みとなっています。

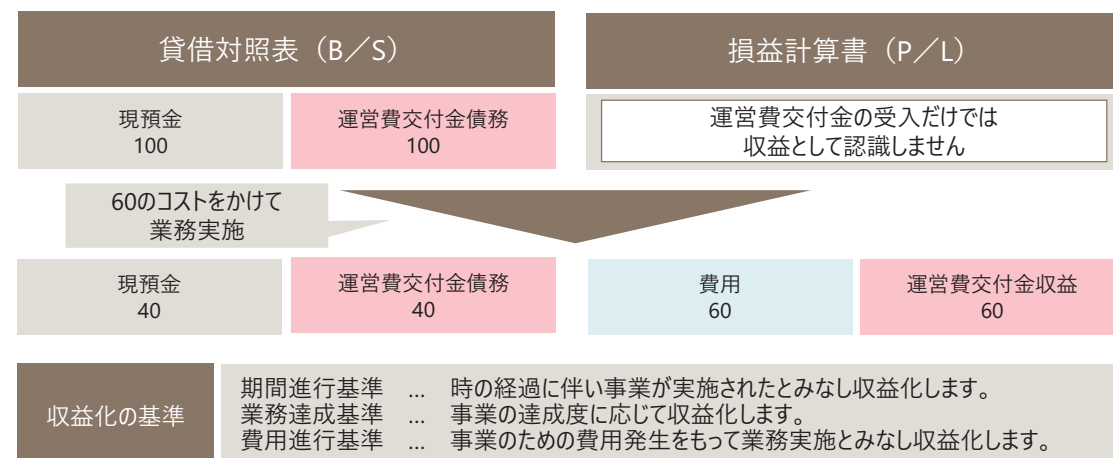
	活動の目的	利益の獲得
民間企業	ステークホルダーの利益最大化、企業価値最大化	目的とする
国立大学法人	公共的性格を有する教育・研究等の実施	目的としない

国立大学法人特有の仕組み

### 収益の認識

運営費交付金や授業料、寄附金等を受入れたときは、受入により国立大学法人は教育・研究等の事業を行う義務を負うとの考えから、債務として負債に計上し、教育・研究等の事業の達成によりその義務が果たされた後に、収益として認識します。教育・研究等の事業が達成されなければ負債のままとなります。

この収益化処理には、期間進行基準、業務達成基準、費用進行基準と3つの基準があり、それぞれの基準によって収益化額が異なります。



### 損益均衡を前提とした会計処理

「収益の認識」で説明したように、運営費交付金や授業料、寄附金等を受入れたときは、債務として負債に計上し、事業を達成すると、その相当額を収益化の基準に従って収益化する仕組みとなっています。

また、一般的に固定資産を運営費交付金等で取得した場合、固定資産と同額を資産見返負債という別の負債として計上することで、収益計上を一旦留保します。その後、留保された金額から減価償却費と同額を毎年収益に振替えます。

このように、国立大学法人は、通常の業務を行えば損益均衡するように制度設計されています。

取得時点	1年目	2年目	3年目																						
<table border="1"> <tr><td>機械 30</td><td>費用 0</td></tr> <tr><td>資産見返負債 30</td><td>収益 0</td></tr> </table>	機械 30	費用 0	資産見返負債 30	収益 0	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>損益0</td><td>損益0</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 10	費用 10	収益 10	損益0	損益0	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>損益0</td><td>損益0</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 10	費用 10	収益 10	損益0	損益0	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 10</td></tr> <tr><td>損益0</td><td>損益0</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 10	費用 10	収益 10	損益0	損益0
機械 30	費用 0																								
資産見返負債 30	収益 0																								
減価償却費 10	収益 10																								
費用 10	収益 10																								
損益0	損益0																								
減価償却費 10	収益 10																								
費用 10	収益 10																								
損益0	損益0																								
減価償却費 10	収益 10																								
費用 10	収益 10																								
損益0	損益0																								

減価償却費の発生  
減価償却費にあわせて収益に振替

機械を取得した時点では収益計上せず、減価償却費と同額を毎年収益に振替え、損益を均衡させています。

### 現金の裏付けのない帳簿上の利益

病院収入等是对価を伴う業務による収入であることから、民間企業と同様の会計処理となります。国立大学法人特有の損益均衡を前提とした会計処理は行わず、診療等の実施による収益はそのまま各年度の収益となります。そのため、病院収入等により資産を取得した場合には、支出年度と費用計上年度が異なるため、以下のように現金の裏付けのない帳簿上の利益や損失が発生します。また、借入金の償還期間と借入金により建設した建物等の減価償却期間が異なる場合も現金の裏付けのない帳簿上の数字となります。

取得時点	1年目	2年目	3年目																						
<table border="1"> <tr><td>機械 30</td><td>費用 0</td></tr> <tr><td>負債 0</td><td>収益 30</td></tr> </table>	機械 30	費用 0	負債 0	収益 30	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 30</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 30</td></tr> <tr><td>利益 20</td><td>利益 20</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 30	費用 10	収益 30	利益 20	利益 20	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 0</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 0</td></tr> <tr><td>損失 10</td><td>損失 10</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 0	費用 10	収益 0	損失 10	損失 10	<table border="1"> <tr><td>減価償却費 10</td><td>収益 0</td></tr> <tr><td>費用 10</td><td>収益 0</td></tr> <tr><td>損失 10</td><td>損失 10</td></tr> </table>	減価償却費 10	収益 0	費用 10	収益 0	損失 10	損失 10
機械 30	費用 0																								
負債 0	収益 30																								
減価償却費 10	収益 30																								
費用 10	収益 30																								
利益 20	利益 20																								
減価償却費 10	収益 0																								
費用 10	収益 0																								
損失 10	損失 10																								
減価償却費 10	収益 0																								
費用 10	収益 0																								
損失 10	損失 10																								

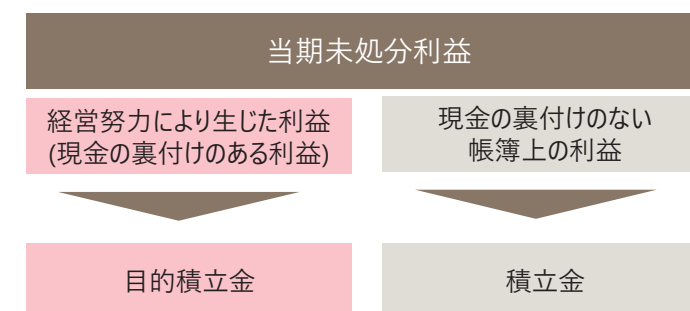
減価償却費と同額を毎年収益に振替えるという処理は行いません。

### 国立大学法人の利益

国立大学法人の利益には、経営努力により生じた利益と現金の裏付けのない帳簿上の利益の2つがあります。

未処分利益のうち、経営努力により生じたものとして文部科学大臣の承認を受けた利益は、次年度以降の教育・研究を充実させるために、目的積立金として中期計画の剰余金の使途に従って使用することができます。

現金の裏付けのない帳簿上の利益は、積立金として次年度以降に損失が発生した場合、相殺します。



広島大学基金は、本基金の趣旨に賛同する個人および法人（企業・団体）の皆様からの篤志による寄附金により成り立っています。世界トップ100の総合研究大学を目指し「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」の育成のために、広島大学基金を活用して、奨学金など、主に学生の支援を行っています。

### ■ 広島大学75 + 75周年に向けて

1874年創立の白鳥学校を源流とする広島大学は、来る2024年が創立75周年であり、その前史である75年も加えると150年という節目の年に当たります。

このたび広島大学75 + 75周年に向け「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」を設立しました。これは広島大学が躍動できる環境を構築し、地域や実業界との協働を強化して、世界に冠たる広島大学の発展を実現させるため、以下の事業を行うことを目的として寄附募集を行うものです。

1. 「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（感性COI拠点）」を中核とした、より高いレベルで地域や実業界との協働を目指す拠点の構築
2. 平和センターを中核とした平和に関する教育・研究・社会貢献拠点の構築
3. 海外トップ研究者による研究成果の社会実装を目指すための研究者と実業界との交流拠点の構築

これらの事業を通して躍動していく広島大学を地元広島の方々が最大限に活用され、本学と実業界の方々が共に集い、若い人々の活動の場が増え、もって広島の地が活性化することを目指しています。

### ■ 広島大学基金の主な活用方法

#### 学生の奨学金のために

学生が経済事情に関わらず、安心して修学することができるよう、様々な奨学制度を整備しています。

学生の修学環境の向上を目指します。



#### チャレンジする国際的教養人を育成するために

海外経験の少ない学部生を対象に、海外協定大学での授業や生活を体験させるを通じて、学生の世界で通用する人材として必要となる能力の向上を目指します。



#### 世界で活躍する研究者を育成するために

研究に邁進する学生が、その研究成果を海外で行われる国際学会で発表する機会を創出しています。

世界で活躍する研究者の育成を目指します。



#### 国際的な教育研究拠点となるために

本学の主要なキャンパスである東千田キャンパス・東広島キャンパス・霞キャンパスを活用し、地域の活性化に繋げるための取組です。



皆様のご支援を

心よりお願い申し上げます。

詳しくは

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>

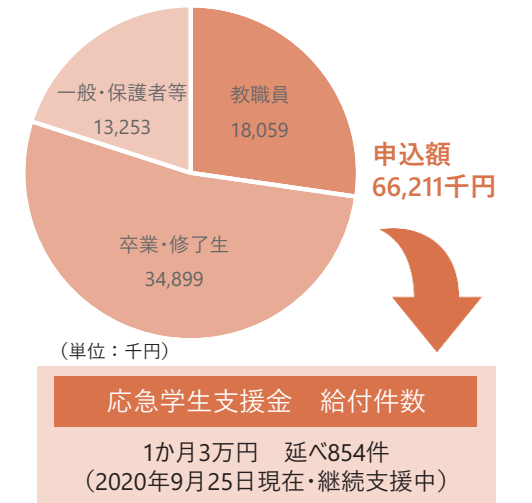


### ■ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う応急学生支援金

本学では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、全国に先駆けて2020年4月21日、アルバイトなどの収入が激減して生活に困っている学生・留学生に応急学生支援金を給付することとしました。

教職員への募金の呼びかけをきっかけに、このニュースをご覧になり、趣旨にご賛同くださいました多くの卒業生、保護者、市民の皆様から励ましのお言葉とともに多大なご支援を賜りました。これを原資として、経済的に困窮した学生への支援金給付を順次行うことができました。

2020年9月25日現在、学生への支援金給付は、1か月3万円で延べ854件で、継続支援中となっています。



### ■ コロナ禍での学業に安心なサポートを提供

応急学生支援金に続く、次の学生支援の取組として、学生応援プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディング（2019年度より本学とREADYFOR株式会社が連携）による支援を募りました。

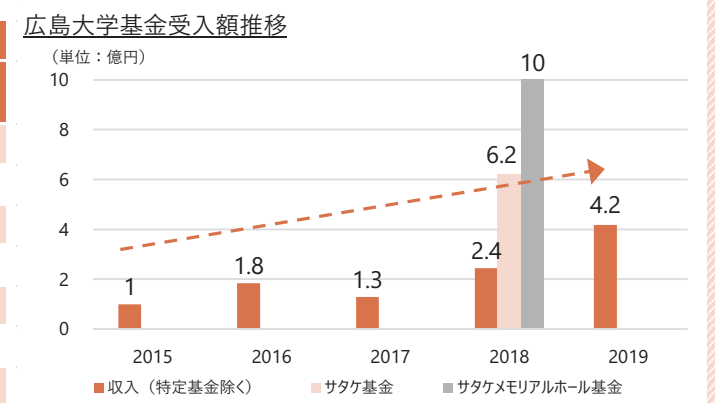
2020年6月5日から2020年7月30日までの期間で311万円のご支援が寄せられました。寄せられたご支援は、教育実習を行う学生の支援や、課外活動団体に使用する非接触型体温計購入等に充てさせていただきます。



### 広島大学基金の状況

広島大学基金の2019年度の収支状況について、受入額は4.2億円、支出額は0.8億円となっております。基金残高は28億円で、前年度比3.4億円の増となりました。広島大学基金の受入額の推移は、順調に拡大しており、サタケ基金と広島大学サタケメモリアルホール基金を除き、前年度比1.8億円の増となっています。

基金内訳	2019 (単位：百万円)			
	前年度繰越額	受入額	支出額	残額
一般基金	777	374	51	1,100
修学支援事業基金	0	15	15	0
冠事業基金	71	23	7	87
のぞみH基金	5	5	5	5
サタケ基金	616	0	3	613
サタケメモリアルホール基金	1,000	0	0	1,000
合計	2,469	417	80	2,806





## ステークホルダーのみなさまへ

「広島大学財務報告書2020」をご覧くださいありがとうございます。

本学では、2006年度より、主に財務面の説明を中心とした財務報告書を発行してまいりましたが、この度、法人経営、教育・研究・社会貢献などの非財務情報を充実させた内容に全面的に刷新しました。

2004年の国立大学法人化以降、国立大学法人運営費交付金は減少傾向にありますが、第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）に入ってから、各国立大学が設定した評価指標の達成度に応じた再配分や、客観・共通指標による実績状況の評価に基づく傾斜配分の仕組みが導入されました。本学は、ステークホルダーのみなさまにも、大学の活動実績や財務情報についてデータを使って分かりやすく示していきます。また、成果が出るまで時間のかかる大学改革など将来に向けた投資も行っています。

2019年度から2020年度における大学改革の一つとして、長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」に掲げる「『持続可能な発展を導く科学』を实践する世界的な教育研究拠点の構築」を実現するため、従来の11研究科を4研究科に再編しました。また、将来に向けた投資として、世界的研究拠点の形成に向け、「国際交流拠点施設」の整備に着手したほか、ウイズ・コロナ/ポスト・コロナを見据えた「あたらしい留学」の形として、新たなオンライン国際交流プログラムの導入などに取り組んでいます。

本報告書は、財務情報や数字で表せるインプット、アウトプットだけではなく、大学改革など、数字で表せない活動も分かりやすく公表することにより、ステークホルダーのみなさまに本学へのご理解を一層深めていただくことを目的として作成しました。多くの方にご覧いただき、本報告書が本学へ興味を持っていただくきっかけとなり、また、本学への理解の一助となれば幸いです。

理事（財務・総務担当）

俵 幸嗣



広島大学をもっと知りたい！

### 大学案内



『大学案内2020-2021』

建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho\\_press/kohoshi/daigakuannai](https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/kohoshi/daigakuannai)

### 学び



『広島大学で何が学べるか 2021』

広島大学でWhyを考えよう

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/yoko\\_doga/pamphlet](https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/yoko_doga/pamphlet)

### 歩み



『創立70周年記念写真集 広島大学の70年』

広島大学は、総合研究大学として歴史ある知的文化を継承・創造し続けています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/about/history>

### SDGs



SDGs報告書『NERPS Report 2018-2019』

報告書では、SDGsの観点から、本学の特色ある教育、研究、社会貢献、大学運営に関して取組・実績を報告しています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/55772>

### SNS



最新ニュースや日々のできごと、キャンパス風景など、広島大学のトピックスを発信しています。また、YouTubeでは、広島大学の紹介や広大学生のキャンパスライフなどを動画で配信しています。

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho\\_press/sns/sns\\_list](https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/sns/sns_list)

### 校友会



広島大学校友会は、広島大学の学生、職員、同窓生、元教職員その他広島大学に深い関わりのある個人および団体を校友とし、校友で構成するコミュニティの育成および発展を図ることを目的としております。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai>

### 広大グッズ



オフィシャルグッズは広島大学の生協で、マスコットキャラクターグッズ、カープコラボグッズは広報グループ等で購入が可能です。

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho\\_press/goods](https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/goods)

### 財務報告書2020



対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日  
（一部前後の実績等を含んでいます）

国立大学法人広島大学 財務・総務室

〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2  
zaimukikaku@office.hiroshima-u.ac.jp



### 表紙裏表紙

財務報告書2020の表紙、裏表紙は、イラストレーターのコミガキヒロフミ氏に広島大学のキャンパスを描いていただいたものです。東広島キャンパスを中心に霞・東千田キャンパスの建物も描写。遠景には、広島を象徴する原爆ドームと厳島神社も描かれています。また、コミガキ氏は、広島大学のシンボルであるフェニックスを「フェニックスマーク」、マスコット「ひろティー」としてデザイン。現在、グッズなど様々なシーンで活用されています。



広島大学 知のワンダーランド



フェニックスマーク



ひろティー

広島大学が擁する東広島・霞・東千田の3キャンパスには、学部棟・研究科棟の他に、5つの附属図書館をはじめ、さまざまな実験・研究施設や文化・スポーツ施設が揃い、第一線の教育・研究活動が展開されています。

## 東広島キャンパス

東広島市

総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 工学部 生物生産学部 情報科学部

約250万㎡もの広さを持つ東広島キャンパスは、広島県の中央部に位置する東広島市にあります。総合科学部をはじめ、9つの学部と3つの大学院が設置され、広島大学の中心となるキャンパスです。キャンパス内の建物は、North、South、East、Westの4つのゾーンに分かれて配置されています。



2020年1月より  
広島大学キャンパスを  
全面禁煙としました

受動喫煙防止対策の徹底および禁煙教育の推進等の観点に立ち、2020年1月から本学の全キャンパス内を全面禁煙としました。

詳しい情報はこちらから! >>

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/kinen>



## 霞キャンパス

広島市

医学部 歯学部 薬学部

広島市内にある霞キャンパスは、医学部、歯学部、薬学部、大学院医系科学研究科が設置されています。敷地内に広島大学病院や研究施設なども併設され、最先端医療の教育・研究・臨床の情報発信拠点としての役割を担っています。

最先端医療教育・  
研究・臨床の  
情報発信拠点



## 東千田キャンパス

広島市

法学部 夜間主コース  
経済学部 夜間主コース

東千田キャンパスは広島市内にあり、東広島市への統合移転前に、広島大学が設置されていた場所の一部にあたります。法学部・経済学部夜間主コースの授業に加え、2016年度から新校舎「東千田未来創生センター」で、医学部・歯学部・薬学部学生への教養教育を実施しています。

広島大学の  
歴史が息づく  
学びの拠点



100年後にも世界で光り輝く大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR  
FOR YEARS INTO THE FUTURE



# COEXISTENCE

SYNCHROTRON RADIATION CENTER

NANO DEVICE BIO SYSTEMS

AMPHIBIAN RESEARCH

Find the Truth  
Elucidation of Truth

Legal Literacy

MERMAID CAFE

FLY TO THE WORLD

